

ふるさと本楯の歴史

西 暦	年 号	主 な 出 来 事
		本楯大物忌神社・創建は詳らかでないが奈良朝天平年間と伝えられる。
804年	延暦13年	出羽国河辺府を保ち、秋田城をやめて郡とする(日本後記)
815年	弘仁6 頃	城輪櫓創建(第1期)
850年	嘉祥3 年	出羽国大地震。城輪櫓傾き、死者多し(文徳実録)
9 世	紀 後 半	城輪櫓跡(第2期)
864年	貞観6 年	出羽国城輪神社に従五位下を授く(三代実録)
877年頃	元慶年中	丹波の人が上星川にきて材木商を営む。
986年	寛和2 年	城輪櫓第3期外郭角材の年輪年代
11 世	紀 後 半	城輪櫓(第4期)
1102年	保安4 年	常陸国の祝部光広が中吉田を開拓する。
1189年	文治5 年	源頼朝、隆興、出羽新田目の留守所に省頼田文などを提出させる。
1409年	応永16年	留守氏の塚淵が没落する。
1409年	応永16年	留守氏の臣土井氏が刈屋の館の内に楯をかまえる。
1446年	文安3 年	10月、総光寺の大棟宗円禪師が梵照寺の再興をはかる。
1467年	応 仁 頃	京都をのかれてきた阿部縫殿頭正龍という武士が正龍寺村に土着。
1516年	永正13年	5月、梵照寺四世禪喜和尚が悦岩寺を開山する。
1538年	天文 頃	市野坪村を小野大炊之助が開拓。
1589年	天正17年	4月、総持寺十三世の宗悦和尚(梵照寺七世)が正伝寺を創建。
1605年	慶長中期	雲竜和尚宝昌寺を開山する。
1622年	元和8 年	この年新田目村を開発する。
1645年	正保2 年	本間与左衛門と弟の幸右衛門が京屋を開発。先祖が京都出身なので、京屋新田とつける。
1660年	万治3 年	庄内藩士芳賀、宮坂の両家が高田新田に住居をかまえる。
1676年	延宝6 年	大物忌神社御本殿と拝殿再建される。
1740年	元文5 年	5月下旬から鳥海山噴煙し、寛延元年までつづく。
1762年	宝暦12年	進藤重記城輪付近を「官人の居城」と推定する。(出羽国風土略記)
1804年	文化元年	6月鳥海山噴火し、庄内地方大地震となる。
	明治初期	刈屋で梨の植付始める。
1874年	明治7 年	本楯に勤成学校設立する。
1876年	明治9 年	本楯・新田目の2カ村合併し本楯となる。
		勝竜寺と市野坪2カ村合併し庭田村となる。
		宮形・星川興屋・木之内の3カ村合併して城輪村となる。
		若屋・館内・中川・明成寺・若王寺の5カ村合併して豊川村となる。
		上星川・中星川・下星川・三ツ橋の4カ村合併して大豊田村となる。
		二ツ柳・福舟の2カ村合併して豊原村となる。
		中吉田・北吉田・越橋・高田新田・京屋新田の五カ村合併して保岡村。
1889年	明治22年	4月、本楯・豊川・大豊田・城輪・豊原・庭田・保岡を合せて本楯村とする。初代村長、杉山三郎治。
1897年	明治30年	勤成学校を本楯尋常小学校と改称。
1899年	明治32年	本楯村の伊藤勘助がはじめて長十郎梨を植える。
1907年	明治40年	吉田東伍、木ノ内・城輪に「櫓戸」の存在を推定。
1913年	大正2 年	茂木辰次郎楯の新品種「福柳」をつくる。
1917年	大正6 年	本楯村に農業倉庫が設立される。
1919年	大正8 年	12月、本楯駅が開業する。
1920年	大正9 年	山居倉庫が、本楯・遊佐に支庫を設ける。
		5月、第7回オリンピック大会に日本人はじめての選手として茂木善作マラソンに出場し、第20位となる。
1931年	昭和6 年	5月6日、城輪櫓角材列発見する。
		県郷土史研究会及び文部省の発掘調査開始する。
1932年	昭和7 年	4月、城輪櫓跡、国の史跡名勝天然記念物に指定される。
1948年	昭和23年	3月、県立本楯高等学校が創設される。初代校長、富永徳治。
		4月、本楯村農業協同組合が設立される。初代組合長、柴田喜三郎。
		7月、本楯・上田村組合立鳥海中学校が竣工する。校長、石垣栄治郎。
1951年	昭和26年	12月、本楯保育園がつくられる。
1952年	昭和27年	国民健康保険組合直営の診療所がつくられる。
1954年	昭和29年	12月、町村合併促進法により、近郷9カ村と共に酒田市に合併する。
1956年	昭和31年	4月、本楯高等学校が酒田北高等学校と改称する。
1957年	昭和32年	8月、新田目城跡が県の史跡名勝天然記念物に指定される。
1958年	昭和33年	6月、鳥海上水道が竣工する。
1964年	昭和39年	3月、城輪櫓跡の戦後初めての公的調査(予備調査)をおこなう。
1965年	昭和40年	7月、城輪櫓跡第1次発掘調査を行う。3ヵ年計画。
		11月、茂木駅伝が行われる。
1971年	昭和46年	11月、本楯公民館が完成する。
1972年	昭和47年	4月、本楯農協等9農協が合併し酒田農業協同組合となる。
1973年	昭和48年	3月、本楯局の電話が酒田局に合併する。
1974年	昭和49年	12月、総合パイロット事業採択。
		体育家、茂木善作が没する。81才。
1975年	昭和50年	4月、本楯神代神楽酒田市無形民俗文化財に指定される。
1979年	昭和54年	5月、県立酒田北高等学校が宮海に新築移転する。
1980年	昭和55年	12月、北高跡に本楯小学校の新校舎が完成する。
1985年	昭和60年	3月、農民センター完成する。
1992年	平成4 年	城輪櫓政庁建物復元工事竣工する。
1994年	平成6 年	4月、酒田農協等8農協合併しJ A庄内みどり農業協同組合となる。

開催にあたって

市街北東の平野、米・刈屋梨を産する本楯。古代から中世にかけての歴史を訪ねる時、多くの言い伝えを今に遺す城輪櫓跡・新田目城跡と大物忌神に出会います。

そして、それらの歴史にふれているうちに、悠久の時間と奥深い親しさを覚えるのです。伝承されている文化財には、地域発展への願いをこめた人びとの素朴さを感じるのです。

この土着の素朴さに耳を傾け足を止める時、そこに明日に向かって営みを続ける姿がうかんでくるのです。

本楯の鎮守である大物忌神を中心としたこの度の開催にあたって、全面的に協力をいただいた本楯地区の皆様にお礼を申し上げます。本楯の歴史と民俗を通して酒田をみる機会になれば幸いです。

[第83回企画展示]

ふるさと歴史探訪

本楯の歴史民俗資料展

2階・酒田の歴史と民俗資料



酒田市指定無形民俗文化財
本楯神代神楽「八岐大蛇退治」

開催期間 平成6年11月11日(金)～平成7年1月16日(月)
 開館時間 9時～午後4時30分
 休館日 11月～3月・月曜日(月曜日が休日のときは翌日)
 年末年始(12月29日～1月3日)
 入館料 大人100円 児童・生徒50円
 65歳以上の方と身体障害者の方は無料です

酒田市立資料館

酒田市一番町8-16 TEL(0234)24-6544

